

DYNAX
Software & Robotics
きょう創立35周年

モーター制御技術で世界に挑む

米コンピューター技術誌「BYTE」が「ロボティクス」を特集した1986年1月号の表紙を飾ったイラスト「テクノロジカル・ブレイクスルー」



コンピューター技術誌として一世を風靡した米「BYTE」は1986年1月号で「ロボティクス」を特集している。スカラ（水平多関節）型ロボットが登場し、産業用ロボット市場が黎明期を迎えたころだ。その時の表紙に使われたのが、「テクノロジカル・ブレイクスルー」と題するこのイラストである。

FA（ファクトリーオートメーション）システム制御関連機器メーカー、ダイナックスの渡辺福徳社長は、ひと目でこのイラストに魅かれた。ちょうど同社がソフトウェア技術でスカラ型ロボット市場に参入し、ハードでも参入するタイミングを模索

していたころだったからだ。自社製品のパンフレットの表紙などに使うため、自ら渡米してイラストレーターのロバート・ティニー氏と直談判し、使用権を取得した。それを機に、一緒にゴルフを楽しむほどの仲となり、これまでに2つのオリジナル作品を描いてもらっている。

研究開発型企业として出発した、ダイナックスの根っこ技術は「モーター制御」である。そこからロボットなど、各種のFAシステムに守備範囲を広げてきた。きょう創立35周年を迎えた、ダイナックスの足跡を追い、ベンチャー企業のあり方を探る。

ダイナックス

▷本店＝東京都府中市府中町1の12の7
センタービル

▷電話番号＝042・360・1621

▷設立＝1977年7月27日

▷資本金＝4800万円

▷従業員＝45人

▷関係会社＝ダイナックス・コリア（韓国）、ダイナサーボ（カナダ）、イーダイナックス（東京都府中市）